

公益財団法人 九州交響楽団

令和7年度〔2025年度〕

事業報告書

I 公益目的事業

概 要

2025年度の九州交響楽団の演奏活動は、ファン層の拡大と入場者数の増を図り、九州一円でのプレゼンスを高めることを目指して、新たな取組みにチャレンジした。

これまで10年に亘り皆さまに親しんでいただいた「名曲・午後のオーケストラ」シリーズ（年4回）を終了し、特別演奏会として、4月に福岡県との友好提携都市であるハノイ市のベトナム国立交響楽団との「福岡市民ホール開館記念 特別演奏会」を2,000人収容の大ホールにて実施。8月には同ホールの中ホールにてバリアフリーの「夏休みリラックス・コンサート」を開催した。9月には「吹奏楽×オーケストラ スペシャルライブ」として、アクロス福岡シンフォニーホールで国内有数の吹奏楽団である航空自衛隊 航空中央音楽隊を迎えて共演し活動の拡充を図った。

また、福岡・北九州に加え、熊本でも包括連携協定を締結した熊本県立劇場において「九響 0歳からのオーケストラ」（4月）と「特別演奏会」（11月）を開催し、福岡県外における演奏活動を展開するなど、主催公演の数を増やすことなく、活動の幅を広げることができたのは、今後の成長の大きな糧となった。

特に、ベトナム国立交響楽団との共演を機に、2026年10月にはハノイでの依頼公演（2回）につながるなど、「アジアを中心に音楽による文化交流」（九響ビジョン）の具現化へと発展している。

さて、「主催公演」については、全26回（サンクス・コンサート、アクロス一万人コンサートの4回を除く）を実施。入場者数は28,005人（入場率75.3%）、うち有料入場者は25,264人（有料入場率67.9%）と前年度から大幅に増えている。例年、第九やこども向けのコンサートではチケットが完売していたが、それに加えて第437回定期（2月）、第79回北九州定期（8月）、天神でクラシック（5月、1月）、ニューイヤーコンサート福岡・北九州（1月）、夏休みリラックスコンサート（8月）など全12公演で完売となったことは、九響後援会の会員拡充など営業成果もあるが、首席指揮者の太田弦氏やミュージックアドバイザー篠崎史紀氏の貢献度も大きい。

昨年度から始めた主催公演への「特別協賛」は、5公演500万円が2025年度は14公演1,300万円と9月以降のほぼすべての公演にご支援をいただくなど、地元企業を中心とした支援の広がりが収支の改善にも寄与している。

年間をととして席を指定し、定期演奏会・天神でクラシックなどを聴いていただく「コンサート会員」について。2024年度は定期547名、天神でクラシック230名、名曲・午後のオーケストラ427名の計1,204名だった。今年度から名曲・午後のオーケストラ会員を廃止、主催公演のうちお好みでいくつかの公演を組み合わせるお得に購入いただく会員制度「選んでとっとーと」を創設した。結果としては、定期・天神でクラシックとも横ばい、「選んでとっとーと」が伸び悩んでおり、コンサート会員数は1,115名（定期558名、天クラ227名、選んでとっとーと330名）となっている。コンサート会員は九響ファンの中核をなすもので、この拡充が喫緊の課題である。

続いて「依頼公演」について。2024年度は111回（コンサート87回／室内楽24回）、公演収入3億400万円だったのに対し、2025年度は138回（96回／42回）、公演収入3億5,700万円となり、公演収入は5千万円以上増えている。

特に、毎年福岡県町村会（公益財団法人福岡県市町村振興協会）からご依頼いただいている「中学生の未来に贈るコンサート」が47回、文化庁巡回公演が7回に前年よりも増加。また、2024年度連携協定を締結した学校法人高木学園から依頼公演2回及びミューザ川崎「フェスタサマーミューザ」への協賛をいただいた。その他、行政や企業、団体、ホールから新規のコンサート及び室内楽をご依頼いただき、収入の増加へとつながった

主催公演について

〔1〕 定期演奏会 11公演（入場者数：12,919名）

（1） 定期演奏会 9公演（入場者数：11,301名）

（2） 北九州定期演奏会 2公演（入場者数：1,618名）

首席指揮者、太田弦は2年目のシーズンとして3公演を指揮した。シーズン開幕であり、実力派ピアニストとの三浦謙司を迎えた第429回（4月）、今後、集中的に採り上げる計画である英国音楽の初回となった第433回（9月）、大作であるマーラー/交響曲9番を完売で迎えた第437回（2月）と、福岡、九州の聴衆に太田弦&九州交響楽団を強く印象づけた。

海外からは、オッコ・カム氏（第431回、6月）、ユベール・スダーン氏（第432回、7月）、リオ・クオクマン氏（第435回、11月）、ヴァレリー・ポリャンスキー氏（第436回）を招聘した。いずれも国際的に活躍する指揮者で、それぞれが得意とする作品で当団に新たな色付けを行った。スダーン氏と取り組んだ戦後80年を意識した「祈り」のプログラムは事前に開催したアウトリーチ公演もあり、新聞等でも取り上げられた。リオ氏はマカオ生まれの指揮者で九響ビジョンに掲げる「アジアを中心に国内外への発信力を高め、音楽による文化交流を推進します」を実現する公演となった。

国内からは、ドイツのオペラハウスで活躍する熊倉優との歌劇『トスカ』（第431回、5月）、終身名誉音楽監督の小泉和裕氏（第434回、10月）と、いずれも共演歴のある日本人指揮者を招き、それぞれの特色を反映したプログラムで当団の水準を引き上げ聴衆に芸術性の高い演奏を披露した。なお第429回、第432回、第436回については広く当団をPRするため公演の一部をYouTubeにてアーカイブ配信している。

北九州定期演奏会は年2回開催している。第78回（5月）は、世界的チェロ奏者であり指揮をする鈴木秀美と若手人気ピアニスト、務川慧悟の共演が大いに会場を沸かせた。第79回（8月）は昨年につきミュージック・アドバイザーで北九州市出身の篠崎史紀が再び登場。同じく北九州出身のピアニスト、谷昂登も出演し多くの来場者を惹きつけた。

（1）定期演奏会（9公演） 会場：アクロス福岡シンフォニーホール

第429回 2025年4月11日（金） 19時開演

< ファンタジック・フレンチ >

指揮＝太田弦（首席指揮者）

ピアノ＝三浦謙司

フォーレ／組曲『ペレアスとメリザンド』

ラヴェル／ピアノ協奏曲

ベルリオーズ／幻想交響曲

第430回 2025年5月22日（木） 18時30分開演

< 九響オペラ トスカ >

指揮＝熊倉優

トスカ＝高野百合絵 カヴァラドッシ＝宮里直樹 スカルピア＝今井俊介 他

合唱＝九響合唱団、筑紫女学園中学校音楽部

プッチーニ／歌劇『トスカ』（演奏会形式）

第431回 2025年6月25日（水） 19時開演

< フィンランドの名匠、オッコカムのシベリウス >

指揮＝オッコ・カム

ヴァイオリン＝中野りな

シベリウス／組曲『レイミンカイネン』よりトゥオネラの白鳥

シベリウス／ヴァイオリン協奏曲

シベリウス／交響曲第1番

第432回 2025年7月31日(木) 19時開演

< スダーン祈りの響き、戦後80年に寄せて >

指揮=ユベール・スダーン

ソプラノ=鈴木玲奈、アルト=渡辺玲美、テノール=工藤和真、バリトン=池内響

合唱=九響合唱団

ブルックナー/交響曲第3番

ブルックナー/テ・デウム

モーツァルト/アヴェ・ヴェルム・コルプス

第433回 2025年9月15日(月・祝) 15時開演

< 太田弦、薫り高き英国の音 >

指揮=太田弦(首席指揮者)

ホルン=福川伸陽、テノール=鈴木准

ブリテン/歌劇『ピーター・グライムズ』より4つの海の間奏曲

ブリテン/テノール、ホルンと弦楽のためのセレナード

エルガー/独創主題による変奏曲『エニグマ』

第434回 2025年10月9日(木) 19時開演

< 巨匠、小泉の名交響曲 >

指揮=小泉和裕(終身名誉音楽監督)

ベートーヴェン/交響曲第8番

チャイコフスキー/交響曲第4番

第435回 2025年11月7日(金) 19時開演

< アジアの俊英、リオのモダンプログラム >

指揮=リオ・クオクマン

ヴァイオリン=金川真弓、ピアノ=長尾洋史

バルトーク/ルーマニア民俗舞曲

バルトーク/ヴァイオリン協奏曲第2番

ストラヴィンスキー/バレエ音楽『ペトルーシュカ』(1947年版)

第436回 2025年12月3日(水) 19時開演

< ポリャンスキー再び! >

指揮=ヴァレリー・ポリャンスキー

ピアノ＝阪田知樹
ムソルグスキー／はげ山の一夜（原典版）
チャイコフスキー／ピアノ協奏曲第1番
ラフマニノフ／交響的舞曲

第437回 2026年2月11日（水・祝） 15時開演

＜ マーラーの第九 ＞

指揮＝太田弦（首席指揮者）
マーラー／交響曲第9番

（2）北九州定期演奏会（2公演） J:COM 北九州芸術劇場大ホール

第78回 2025年5月11日（土） 15時開演

指揮＝鈴木秀美
ピアノ＝務川慧悟
メンデルスゾーン／劇付随音楽『夏の夜の夢』よりスケルツォ、夜想曲
メンデルスゾーン／ピアノ協奏曲第1番
シューマン／交響曲第4番（1841年原典版）

第79回 2025年8月30日（土） 15時開演

指揮＝篠崎史紀（ミュージック・アドバイザー）
ピアノ＝谷昂登
モーツァルト／ロンド K.373
モーツァルト／ピアノ協奏曲第17番
ベートーヴェン／交響曲第7番

〔 2 〕 巡回演奏会 7公演（入場者数：7,064名）

（1）天神でクラシック 音楽 発見！ラボ 3公演（入場者数：1,730名）

（2）その他の巡回演奏会 4公演（入場者数：5,334名）

巡回演奏会、特別演奏会の公演内容、回数を見直し、「午後・名曲のオーケストラ」の廃止、「天神でクラシック」の回数変更（4回→3回）を行った。「天神でクラシック」では「定期演奏会」と内容を差別化させ、会場の規模に適した小規模から中規模の楽団編成の作品を採り上げ、出演者の話しを交えながら公演を展開した。（#9、5月）は古典派のスペシャリスト、鈴木秀美と実力派若手ピアニスト、務川慧悟の組み合わせで満席となった。（#10、8月）は音楽教室等で客演を重ねる指揮者、坂入健司郎が主催公演に初登場。宮崎出身でNHK

交響楽団オーボエ奏者である池田昭子をソリストに迎え、チェコをテーマにした演目を実施。公演翌日には教育プログラムとして池田昭子氏によるオーボエマスタークラスを開催し、オーボエを学ぶ学生や愛好家が多数参加した。(＃11、2月)は福岡出身で元ベルリン・フィルコンサートマスターとピアニスト、市野あゆみを迎え、あえて指揮者を置かないアンサンブルで緻密な室内管弦楽を展開した。こちらも完売となった。

「第九公演」は、九州出身で実力派指揮者の下野竜也氏のもと、日本を代表する歌手達と九響合唱団のほか地元合唱団（福岡公演）や北九州市民フロイデコール（北九州公演）と共に不朽の人間賛歌を高らかに歌い上げた。「ニューイヤーコンサート 2026」では、客演を重ねるキンボー・イシイが指揮台に立ち、NHK 交響楽団で打楽器奏者を務める竹島悟史をピアニストとして迎えた、ガーシュイン／ラプソディー・イン・ブルーなど華やかな演目で新年を迎えた。「第九公演」「ニューイヤーコンサート」とも同プログラムで福岡と北九州で開催し、すべて完売となった。

(1) 天神でクラシック 音楽 発見！ラボ (3回) FFG ホール

＃9 2025 年 5 月 11 日 (土) 15 時開演

< 鈴木秀美のロマン派 >

指揮＝鈴木秀美

ピアノ＝務川慧悟

メンデルスゾーン／劇付随音楽『夏の夜の夢』よりスケルツォ、夜想曲

メンデルスゾーン／ピアノ協奏曲第 1 番

シューマン／交響曲第 4 番 (1841 年原典版)

＃10 2025 年 10 月 25 日 (土) 15 時開演

< ドヴォルザークからマルティヌー チェコの系譜 >

指揮＝坂入健司郎

オーボエ＝池田昭子、お話し＝奥田佳道

マルティヌー／九重奏曲第 2 番

マルティヌー／オーボエ協奏曲

ドヴォルザーク／交響曲第 8 番

＃11 2026 年 1 月 27 日 (火) 19 時開演

< 続・・・モーツァルトをあなたに Vol.19 >

ヴァイオリン＝安永徹、ピアノ＝市野あゆみ

モーツァルト／ピアノ協奏曲第 23 番

メンデルスゾーン／弦楽のための交響曲第 10 番

モーツァルト／交響曲第 36 番「リンツ」

(2) その他の巡回演奏会（4公演）

北九州巡回演奏会 <第九（北九州）>

2025 年 12 月 20 日（土） 15 時開演 会場：J:COM 北九州芸術劇場大ホール

指揮＝下野竜也

ソプラノ＝吉原圭子、アルト＝小林由桂、テノール＝小原啓楼、バリトン＝宮本益光

合唱＝北九州市民フロイデコール

ベートーヴェン／交響曲 第 9 番「合唱付き」

福岡巡回演奏会 <第九（福岡）>

2025 年 12 月 21 日（日） 15 時開演 会場：アクロス福岡シンフォニーホール

合唱＝九響合唱団 ほか

※合唱を除き、第九（北九州）と同内容

福岡巡回演奏会 <ニューイヤーコンサート 2026（福岡）>

2026 年 1 月 10 日（土） 15 時開演 会場：アクロス福岡シンフォニーホール

指揮＝キンボー・イシイ

ピアノ＝竹島悟史

ガーシュイン／ラブソディ・イン・ブルー

J.シュトラウスⅡ／喜歌劇「こうもり」序曲

J.シュトラウスⅡ & ヨーゼフ・シュトラウス／ピツィカート・ポルカ 他

北九州巡回演奏会 <ニューイヤーコンサート 2026（北九州）>

2026 年 1 月 11 日（日） 15 時開演 会場：J:COM 北九州芸術劇場大ホール

※ニューイヤーコンサート 2026（福岡）と同内容

[3] 特別演奏会 12 公演（入場者数：12,434 名）

(1) <九響 0 歳からのオーケストラ> 1 公演（入場者数：1,482 名）

(2) <マタニティコンサート 2025> 2 公演（入場者数：1,075 名）

(3) <福岡市民ホール開館記念 特別演奏会> 1 公演（入場者数：1,164 名）

(4) <サンクス・コンサート> 2 公演（入場者数：772 名）※コンサート会員、後援会員限定

(5) <夏休みリラックス・コンサート> 1 公演（入場者数：613 名）

- (6) <吹奏楽×オーケストラ スペシャルライブ> 1公演 (入場者数：1,441 名)
- (7) <熊本特別演奏会> 1公演 (入場者数：1,378 名)
- (8) <舞台芸術感動体験事業コンサート (アクロス万人コンサート)> 2公演 (入場者数：2,978 名)
- (9) <オーケストラ for キッズ> 1公演 (入場者数：1,531 名)

<マタニティコンサート 2025>は、妊婦さんだけでなく 0 歳児から来場できるママとパパに優しいコンサート。赤ちゃんが泣いても動き回っても心配のない会場として多目的に活用できるアクロス福岡イベントホールを使用し、普段コンサートに行きたくても行けないパパやママに多く来場いただいている。赤ちゃん連れの方々向けにベビーカーのまま入場できる座席や自由に座れるフリースペースを設定するほか、ロビーにはおむつ交換スペースや授乳スペース、助産師相談コーナーなどを設け安心して来場いただける環境を整え開催した。その前日には熊本県立劇場との包括連携協定に基づき、同内容を<九響 0 歳からのオーケストラ>として初開催し、完売となり好評を得た。

<福岡市民ホール開館記念 特別演奏会>では新しく開館した福岡市民ホールでの最初のプロオーケストラコンサートとして開催。福岡県が提携するベトナム、ハノイ市に本拠地のあるベトナム国立交響楽団の音楽監督である本名徹次氏、同楽団員を招き合同オーケストラとし演奏を行った。公演の前には福岡県庁や在福岡ベトナム総領事を訪問し、芸術による国際交流としても機能した。

<サンクス・コンサート>は、定期会員、天クラ会員、名曲会員のうちダブルで会員になっていただいている方々、そして 2025 年度からは後援会員もお招きする特別なコンサート。今回はミュージック・アドバイザー、篠崎史紀さんによる演奏とトークをお楽しみいただいた。

<夏休みリラックス・コンサート>は 2025 年度が初開催の公演。FACT（福岡県障がい者文化芸術活動支援センター）等の協力を得て、障がいの有無、年齢等に関わらず様々な方が来場できるように広報、接客、演出を工夫したコンサートとして開催した。完売となり、これまではオーケストラコンサートに来場できなかった、しにくかった方など多くのお客様を迎えることができた。

<吹奏楽×オーケストラ スペシャルライブ> では世界的レベルの吹奏楽団である航空自衛隊航空中央音楽隊との共演をおこなった。吹奏楽をする学生など若い世代が多く来場した。

熊本県立劇場との包括連携協定の一環として<熊本特別演奏会>を開催。第 435 回定期演奏会と同内容の本格的なオーケストラ公演を劇場との共同主催により実施した。

<舞台芸術感動体験事業コンサート (アクロス万人コンサート)>は、小・中学生にクラシック音楽の魅力を知っていただくことを目的として、毎年、福岡県教育委員会、福岡県教育文化

奨学財団、アクロス福岡と共同で開催しているコンサート。たいへん重要なコンサートとして認識しており、九響としても今後最大限の協力、素晴らしい演奏を届けて行きたい。

<オーケストラ for キッズ>は、開演前のバックステージツアーや子どもたちによる影アナ体験、ステマネ体験でオーケストラの本番当日の準備や流れも身近に感じ取ってもらい、違う角度からも興味を持ってもらうよう試みた。ミュージック・アドバイザー、篠崎史紀氏の絵本「おんがくはまほう」を基に和田薫氏が作曲をし、特別協賛企業であるKBCのアナウンサーのナレーションと共に絵本を投影しながら新曲を披露した。

(1) 九響 0歳からのオーケストラ

2025年4月19日(土) 14時30分開演 会場：熊本県立劇場コンサートホール

指揮＝喜古恵理香

モーツァルト／歌劇『魔笛』序曲

アンダーソン／プリंक・プランク・プルンク 他

(2) マタニティコンサート 2025 (2回)

2025年4月20日(日) 11時00分開演／14時30分開演

会場：アクロス福岡イベントホール

※九響 0歳からのオーケストラと同内容

(3) 福岡市民ホール開館記念 特別演奏会

2025年4月25日(金) 19時00分開演 会場：福岡市民ホール大ホール

指揮＝本名徹次

ピアノ＝グエン・ヴィエット・チュン 共演＝ベトナム国立交響楽団メンバー

ショパン／ピアノ協奏曲第1番

ドヴォルザーク／交響曲第9番「新世界より」

(4) サンクス・コンサート (2回) ※コンサート会員、後援会員限定

2025年8月3日(日) 11時00分/15時00分開演 会場：FFGホール

指揮＝篠崎史紀 (ミュージック・アドバイザー)

J.シュトラウスⅡ世／美しく青きドナウ

ブラームス／ハンガリー舞曲第5番 他

(5) 夏休みリラックスコンサート

2025年8月24日(日) 14時00分開演 会場：福岡市民ホール中ホール

指揮＝太田弦（首席指揮者）

ナビゲーター＝古橋果林

ドヴォルザーク／序曲『謝肉祭』

ファリャ／歌劇『恋は魔術師』より火祭りの踊り

外山雄三／管弦楽のためのラプソディ 他

（６）吹奏楽×オーケストラ スペシャルライブ

2025年9月6日（土）14時00分開演 会場：アクロス福岡シンフォニーホール

指揮＝渡邊一正、芳賀大輔（航空中央音楽隊副隊長）

共演＝航空自衛隊航空中央音楽隊

ストラヴィンスキー／バレエ音楽『春の祭典』 ※合同演奏

レスピーギ／交響詩『ローマの松』 ※合同演奏

プッチーニ／菊 ※九響単独演奏 他

（７）熊本特別演奏会

2025年11月8日（土）15時00分開演 会場：熊本県立劇場コンサートホール

指揮＝リオ・クオクマン

ヴァイオリン＝金川真弓、ピアノ＝長尾洋史

バルトーク／ルーマニア民俗舞曲

バルトーク／ヴァイオリン協奏曲第2番

ストラヴィンスキー／バレエ音楽『ペトルーシュカ』（1947年版）

（８）舞台芸術感動体験事業（アクロス一万人コンサート）（2回）

2025年11月19日（水）11時00分開演／13時45分開演

会場：アクロス福岡シンフォニーホール

指揮＝中井章徳

ビゼー／『アルルの女』第2組曲よりファランドール

久石譲／オーケストラストーリーズ『となりのトトロ』よりさんぽ

J.シュトラウスⅡ／ポルカ『雷鳴と稲妻』

参加校：27校／鑑賞人数2,978名

福岡市立箱崎小学校、板付北小学校、南当仁小学校、塩原小学校、室見小学校、内浜中学校、

平尾小学校、東光小学校、博多中学校

大野城市立大利小学校、福津市立津屋崎中学校、宗像市立地島小学校、宇美町立宇美東学校、

久留米市立江上小学校、朝倉市立三奈木小学校、八女市立三河小学校、八女市立八幡小学校、

八女市立立花小学校、八女市立筑南小学校、八女市立岡山小学校、みやま市立高田小学校、
飯塚市立上穂波小学校、飯塚市立若菜小学校
飯塚日新館小学校、福岡海星女子学院附属小学校、敬愛小学校、筑紫女学園中学校

(9) オーケストラ for キッズ

2026 年 3 月 28 日 (土) 14 時 00 分開演 会場：アクロス福岡シンフォニーホール

指揮＝篠崎史紀 (ミュージック・アドバイザー)

司会＝宮本啓丞 (KBC アナウンサー)、ナレーション＝細谷めぐみ (KBC アナウンサー)

ハチャトリアン／バレエ音楽『ガイーヌ』より

和田薫／「おんがくはまほう」～朗読とオーケストラのための～ ※世界初演 他

[4] 移動音楽教室 開催実績なし

依頼公演について

[5] 依頼公演 138 公演 (オーケストラ公演 96 回／室内楽公演 42 回)

2025 年度の依頼公演については、行政や企業、団体、ホールからの依頼をいただき、公演回数は 96 回と 2024 年度実績 (87 回) 及び 2025 年度計画 (93 回) を上回る実績となった。うち「中学生の未来に贈るコンサート」は 47 公演、文化庁「舞台芸術等総合支援事業 (学校巡回公演)」は 6 校 7 公演を九州エリア (大分県・宮崎県・鹿児島県) の小中学校で実施した。ミューザ川崎の主催するオーケストラの音楽祭フェスタサマーミューザ KAWASAKI にも招待され、首席指揮者、太田弦の指揮の下、新たな九響を首都圏の音楽ファンを中心に広く印象付けた。

室内楽公演は、行政や企業、団体からの依頼を多くいただき 2024 年度実績から 12 公演増の 42 公演開催した。

依頼公演の詳細は以下のとおり。

(オーケストラ公演)

	<開催地>	<主 催>	<内 容>
2025 年			
4 月 29 日(火・祝)	福岡	アクロス福岡	アクロス・バースデーコンサート
5 月 5 日(月・祝)	熊本	ロームミュージックファンデーション	ローム公演
5 月 6 日(火・祝)	宮崎	ロームミュージックファンデーション	ローム公演
5 月 25 日(日)	福岡	高木学園	高木学園公演

	<開催地>	<主 催>	<内 容>
5月27日(火)	福岡	福岡中央高等学校	音楽鑑賞会
5月29日(木)	長崎	ビルボードジャパン	玉置浩二公演
6月2日(月)	岡垣	福岡県市町村振興協会	中学生公演 (2公演)
6月7日(土)	大分	iichiko 総合文化センター ほか	バレエ公演
6月10日(火)	長崎県佐世保	佐世保市教育委員会	子ども音楽鑑賞会 (2公演)
6月11日(火)	岡山	日本舞台芸術振興会 ほか	バレエ公演
6月14日(土)	滋賀県大津	日本舞台芸術振興会 ほか	バレエ公演
6月19日(木)	粕屋	福岡県市町村振興協会	中学生公演 (2公演)
6月28日(土)	久留米	B S フジ	平原綾香チャリティーコンサート
7月1日(火)	直方	福岡県市町村振興協会	中学生公演 (2公演)
7月2日(水)	浮羽	福岡県市町村振興協会	中学生公演 (2公演)
7月3日(木)	京都	福岡県市町村振興協会	中学生公演 (2公演)
7月4日(金)	岡垣	福岡県市町村振興協会	中学生公演 (2公演)
7月8日(火)	大牟田	福岡県市町村振興協会	中学生公演 (2公演)
7月9日(水)	粕屋	福岡県市町村振興協会	中学生公演 (2公演)
7月10日(木)	伊都	福岡県市町村振興協会	中学生公演 (2公演)
7月13日(日)	福岡	プロマックス	石丸幹二コンサート
7月16日(水)	伊都	福岡県市町村振興協会	中学生公演 (2公演)
7月17日(木)	大川	福岡県市町村振興協会	中学生公演 (2公演)
7月21日(月・祝)	福岡	高木学園	高木学園公演
8月7日(木)	神奈川県川崎	ミューザ川崎	フェスタサマーミューザ KAWASAKI
8月10日(日)	福岡	プロマックス	モンスターハンター
8月17日(日)	久留米	石橋文化センター	ドラゴンクエストコンサート
8月21日(木)	熊本	ヤマトホールディングス	音楽宅急便
8月26日(火)	柳川	福岡県市町村振興協会	中学生公演
8月27日(水)	柳川	福岡県市町村振興協会	中学生公演 (2公演)
9月2日(火)	小郡	福岡県市町村振興協会	中学生公演 (2公演)
9月9日(火)	福岡	アクロス福岡	オービックコンサート
9月18日(木)	那珂川	福岡県市町村振興協会	中学生公演
9月19日(金)	那珂川	福岡県市町村振興協会	中学生公演 (2公演)
9月23日(火・祝)	古賀	古賀市	古賀市公演
9月27日(土)	宗像	宗像ユリックス	宗像公演
9月30日(火)	中間	福岡県市町村振興協会	中学生公演 (2公演)
10月1日(水)	須恵	福岡県市町村振興協会	中学生公演
10月4日(土)	福岡	アクロス福岡	クラシックふえすた
10月14日(火)	粕屋	福岡県市町村振興協会	中学生公演 (2公演)
10月15日(水)	須恵	福岡県市町村振興協会	中学生公演 (2公演)
10月16日(木)	直方	福岡県市町村振興協会	中学生公演 (2公演)
10月17日(金)	大刀洗	福岡県市町村振興協会	中学生公演
10月20日(月)	中間	福岡県市町村振興協会	中学生公演
10月21日(火)	粕屋	福岡県市町村振興協会	中学生公演 (2公演)
10月28日(火)	宮崎	文化庁	学校巡回公演

	<開催地>	<主 催>	<内 容>
10月29日(水)	鹿児島県始良	文化庁	学校巡回公演
10月30日(木)	鹿児島	文化庁	学校巡回公演
11月11日(火)	大分	文化庁	学校巡回公演 (2公演)
11月12日(水)	大分県別府	文化庁	学校巡回公演
11月16日(日)	大分	iichiko 総合文化センター	ドラゴンクエストコンサート
11月23日(日)	福岡	福岡市東市民センター	なみき芸術文化祭
11月28日(金)	鹿児島	鹿児島市民文化ホール	ドラゴンクエストコンサート
12月 7日(日)	福岡	福岡市文化芸術振興財団	ホワイトハンドコーラス
12月12日(金)	福岡	西日本シティ銀行	N C B音楽祭
12月16日(火)	小郡	福岡県市町村振興協会	中学生公演 (2公演)
12月17日(水)	みやま	福岡県市町村振興協会	中学生公演 (2公演)
2026 年			
1月 9日(金)	佐賀	佐賀銀行	ニューイヤーコンサート
1月12日(月・祝)	長崎	十八親和銀行	ニューイヤーコンサート
1月14日(水)	熊本	熊本銀行	ニューイヤーコンサート
1月15日(木)	北九州	福岡銀行	ニューイヤーコンサート
1月16日(金)	長崎県佐世保	十八親和銀行	ニューイヤーコンサート
1月17日(土)	福岡	福岡銀行	ニューイヤーコンサート (2公演)
1月22日(木)	鹿児島県日置	文化庁	学校巡回公演
2月 2日(月)	福岡	日本演奏連盟	新進演奏家育成プロジェクト
2月14日(土)	大分	iichiko 総合文化センター	大分公演
2月21日(土)	朝倉	ピーポート甘木	朝倉公演
3月 1日(日)	添田	福岡県	添田公演
3月 8日(日)	北九州	北九州市	合唱組曲「北九州」
3月15日(日)	宮崎県都城	都城市総合文化センター	宮崎公演
3月16日(月)	福岡	英進館	英進館公演
3月20日(金・祝)	福岡	福岡銀行	福岡銀行本店 50 周年記念公演
(以上、96 公演)			

(室内楽公演)

	<開催地>	<主 催>	<内 容>
2025 年			
4月 5日(土)	福岡	福岡トヨタ自動車	レクサス福岡中央 5 周年記念 (2 公演)
4月 6日(日)	福岡	福岡トヨタ自動車	レクサス福岡中央 5 周年記念 (2 公演)
4月13日(日)	福岡	福岡トヨタ自動車	レクサス福岡中央 5 周年記念 (2 公演)
4月21日(月)	福岡	K B C U N I E	ワンフクオカビル開業記念
5月13日(火)	福岡	福岡市	アーティストとであう (西長住小学校)
5月14日(水)	福岡	福岡市	アーティストとであう (八田小学校)
5月15日(木)	福岡	福岡市	アーティストとであう (今津小学校)
5月16日(金)	福岡	福岡市	アーティストとであう (入部小学校)

	<開催地>	<主 催>	<内 容>
7月 6日(日)	直方	NHK福岡放送局	「NHKのど自慢」
7月11日(金)	福岡	九州電力	巴里祭
7月26日(土)	久山	ミカサ	サマーコンサート in レスポ
9月18日(木)	佐賀	佐賀医師会	アンサンブルミニコンサート
9月19日(金)	佐賀	佐賀医師会	アンサンブルミニコンサート
9月24日(水)	福岡	福岡市	アーティストとであう (千早西小学校)
9月24日(水)	太宰府	福岡県市町村振興協会	太宰府市立太宰府特別支援学校
9月25日(木)	福岡	福岡市	アーティストとであう (下山門小学校)
9月25日(水)	糸島	福岡県市町村振興協会	糸島市立糸島特別支援学校
10月 2日(木)	福岡	福岡銀行	ふくぎんビルの谷間のコンサート
10月 2日(木)	久留米	福岡県市町村振興協会	久留米市立久留米特別支援学校
10月10日(金)	筑後	福岡県市町村振興協会	筑後米市立筑後特別支援学校
11月24日(月)	大分	大分県芸術文化スポーツ振興財団	大分県立美術館コンサート (2公演)
11月25日(火)	福岡	サエキジャパン	福岡クラシック音楽祭 2025 (2公演)
12月 6日(土)	福岡	NHK福岡放送局	開局 95 周年記念イベント
12月 8日(月)	柳川	福岡県市町村振興協会	柳川市立柳河特別支援学校
12月26日(金)	福岡	NHK福岡放送局	はっけんTV
2026 年			
1月 9日(金)	福岡	福岡銀行協会	新春代表者会 室内楽公演
2月 3日(火)	福岡	三井住友信託銀行	懇親会 室内楽公演
2月15日(日)	久留米	そよ風ホール企画運営事業実行委員会	そよ風バレンタインコンサート
2月22日(日)	大刀洗	大刀洗町	アンサンブルコンサート in 大刀洗
2月23日(月・祝)	みやま	福岡県退職教職員協会	柳川みやま支会室内楽公演
3月21日(土)	福岡	NHK福岡放送局	九響サウンドセレクション公開収録 (2公演)
3月23日(月・祝)	福岡	福岡音楽都市協議会	Fukuoka Flour Show 2026 (2公演)
3月25日(水)	福岡	北九州商工会議所	総会コンサート
3月26日(木)	福岡	九電ビジネスフロント	城南市民センター室内楽公演
3月31日(火)	神奈川	日本オーケストラ連盟	オーケストラの日オールジャパンコンサート

(以上、42 公演)

【参考】

2025 年度（令和 7 年度）公演回数

	2024 年度 実績	2025 年度 計画	2025 年度 実績	回数増減（2025 年度計画比）
定期演奏会	12 回	11 回	11 回	増減なし
巡回演奏会	12 回	7 回	7 回	増減なし
特別演奏会	8 回	12 回	12 回	増減なし
移動音楽教室	0 回	1 回	0 回	1 回減
依頼演奏会	87 回	93 回	96 回	・依頼演奏会：2 回増 ※1 ・中学生公演：増減なし ※2 ・文化庁公演：1 回増
合 計	119 回	124 回	126 回	2 回増
室内楽	24 回	30 回	42 回	12 回増

主催公演入場者数

	2024 年度 実績	2025 年度 計画	2025 年度 実績	増減（2024 年度実績比）
入場者数	29,110 人	29,418 人	28,005 人	1,105 人減（37 人／公演 増）
入場率	70.8%	78.2%	75.3%	4.5%増
有料入場者数	23,718 人	—	25,264 人	1,546 人増（125 人／公演 増）
有料入場率	57.7%	—	67.9%	10.2%増
公演数（有料）	28 回	26 回	26 回	2 回減

コンサート会員数

	2024 年度 実績	2025 年度 計画	2025 年度 実績	増減（2024 年度実績比）
定期演奏会	547 人	—	558 人	11 人増
天神でクラシック	230 人	—	227 人	3 人減
名曲・午後	427 人	—	—	廃止
選んでとっとーと	—	—	330 人	新設
計	1,204 人	—	1,115 人	89 人減